

令和8年1月26日

横川中央小学校



学校保健・給食委員会 実施報告書



1月22日（木）に、令和7年度学校保健・給食委員会を開催いたしました。また、当初の想定より参加者が少数となったため、内容を一部変更し、委員会前に給食参観と給食試食会の時間を設けました。少人数ならではの利点を活かし、委員の皆様とより密な意見交換を行うことができたと感じます。

【日時】

令和8年1月22日（木）12:30～

【場所】

宇都宮市立横川中央小学校 2階学習室

【内容】

- 12:30～ 給食参観
- 12:45～ 給食試食会
- 13:10～ 学校保健・給食委員会

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 参加者紹介
- (4) 協議研究

① 本校の実態と取組に関する報告

② PTA 役員からの意見・感想

- (5) 謝辞
- (6) 閉会

【参加者】

PTA 役員3名・教職員6名

給食試食会メニュー

- パン
- きなこクリーム
- 牛乳
- ハンガリアシチュー
- ゆで野菜



本校の実態と取組に関しましては、保健・給食・体育・安全について、各担当者から報告いたしました。報告内容の一部は裏面に記載しております。

本校の実態と取組に関する報告

＜ 保健 ＞ 担当：養護教諭（平野）

- 裸眼視力Dの児童は学年が上がるにつれて増加傾向にあり、裸眼視力C・Dの割合は県や全国平均を上回っている。次年度は生活習慣や目の健康に重点を置き、学校全体で取組を推進していく。一方で、むし歯保有者は学年が上がるにつれて減少し、県や全国平均と比べても大きく下回る良好な結果となった。
- 5～6年生を対象に行った「元気っ子生活習慣チェック」では、外遊びやスマホ等のメディアコントロール、食事中の姿勢等について、否定的回答（あとひといき・できなかった）が多かった。
- 例年にないほど百日咳やマイコプラズマ肺炎の罹患者が多かった。手洗い・うがい・マスクの着用等、今後も感染対策を呼びかけていく。



＜ 給食 ＞ 担当：学校栄養士（大川）

- 本校の給食は、イトランド株式会社の8名の方が458名分（児童428名・職員等30名）を作っており、宇都宮産「ゆめかおり」を使用したパンや宇都宮産「コシヒカリ」を使用した米飯、横川っぺの野菜等、地産地消を心がけている。
- 水質検査や中心温度の確認、衛生管理チェックリストの活用、放射性物質検査等、安全面や衛生面に気を付けて給食を提供している。
- 食物アレルギーを有する児童がいるため、食物アレルギーに関する校内研修の実施や、食物アレルギー対応専用の食器及び調理器具の使用等をしている。
- 給食は1日の必要栄養素の3分の1が目安となっているが、不足しがちなカルシウムや鉄等は目安よりも多く摂取できるようにしている。



＜ 体育 ＞ 担当：体育主任（福原）

- 今年度（R7）の新体力テストの結果から、本校児童は「握力」「長座体前屈」が宇都宮市の平均に比べて低い。鉄棒や登り棒、柔軟運動を取り組む機会を増やしていく。また、ドッジボール大会のように、楽しく体を動かす機会をつくり、外遊びを推奨していきたい。
- 「ミニマム」は宇都宮市独自の取組で、今年度の結果は次年度に報告する。前年度の結果を見ると、学年を経るごとに右肩上がりに発達していることが分かる。



＜ 安全 ＞ 担当：安全教育主任（砂川）

- 避難訓練や4年生自転車免許事業のような体験活動を行うことで、事故災害発生時の対応を子どもたちに身に付けさせていきたい。また、地震・火災を想定した避難訓練については、煙体験と消火体験のどちらかを毎年実施していく。
- 着衣水泳は3・6年生を対象に実施している。
- 保護者・交通指導員・スクールガードチーフ・学校安全ボランティアの協力を得て、子どもたちが大きな事故に遭わず、概ね安全に登下校できている。ただし、登下校中に遊んでしまうことがあるので指導していきたい。

